

施策マネジメントシート(2024年度の振り返り、総括)

作成日 2025 年 8 月 1 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち					
施策	9	公共交通の維持・確保	主管課	名称	企画課	関係課	総務課 消防・防災係／総務課 新治支所 住民係
				課長	小池 俊弘		
				担当係	企画調整係		
							

目的と基本方針	公共交通の利用促進と移動手段の確保				
	- 公共交通の利用を促進し、現行路線の維持確保に努めます。 - 公共交通空白地域での移動手段の導入を検討します。				

考え基本事業の	- バスカード廃止に伴う、代替支援の検討、導入、普及。 - 現状の公共交通が存続できるよう努める。 - 公共交通空白地域及び、公共交通運行時間外での移動手段の導入を検討し、施策展開する。				
---------	---	--	--	--	--

基本事業	基本事業名		対象	意図	取り組み方針
	1	公共交通の利用促進	町民	公共交通を利用する。	登録証を発行し利用者の負担軽減を図ります。
	2	移動手段の維持・確保	町民・来訪者	既存の移動手段を維持する。	自主運行路線の継続運行を支援し、町運行路線を継続し移動手段を確保します。
	3				
	4				

施策を取り巻く状況	1. 施策の現状		2. 施策の課題		
	- 高齢化社会を迎える中、コロナ禍の影響を除外しても、公共交通を利用している人の割合(町民アンケートより)、路線バス利用者数、鉄道利用者数ともに、現状維持を目指す目標設定に対し、実績は右肩下がりとなっています。 - 路線バスの利用促進を図るバスカードが、令和5年3月31日で販売を終了し、令和6年1月31日をもって利用を終了します。 - 公共交通を利用する若年層は、年々減少傾向となっています。		- 公共交通の利用者数の減少が運行本数の減少を招き、路線の減少につながっているため、運行本数と路線の維持が課題です。 - 住民の高齢化が進み、移動手段(利便性)の確保が難しくなります。 - 買い物や通院手段の確保、観光客の移動手段などの課題があります。 - 路線バスの利用を促す制度を再構築し、利用者へ浸透させる必要があります。 - タクシーの営業時間が短く、営業時間外での移動手段の確保が難しくなっています。		
	3. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化する？		4. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？		
	- 群馬県が地域交通計画を策定している。(令和5年度～令和9年度) - 路線バスは、バスカードが廃止(R6年1月末)になり、交通系ICカードに代わる。 - 公共交通機関におけるインバウンド対応の促進。(多言語表記等)		- 免許返納後の移動手段を確保してもらいたい。(将来的に不安である。) - バス同士や、電車とバスの乗り継ぎが悪い。 - タクシー終了時間が早く終わってしまい不便である。		

施策のための目的・役割分担達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割		2. 行政(町、県、国)の役割		
	- 公共交通の重要性を認識し、通勤・通学・通院・買い物等で積極的に利用する。 - 事業者は、利用者数が増加するよう、公共交通の利便性とサービスの向上に努める。		- 現行路線維持のため、利用促進と生活交通の確保に努める。 - 関係機関と連携協力し、移動手段の確保に努める。 - 来訪者へ情報発信を行い、公共交通利用の促進に努める。 - 上毛高原駅の利用促進のため、駅の周辺整備を促進する。		

施策	9	公共交通の維持・確保	主管課	名称	企画課
				課長	小池 俊弘

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
	A	日常的な公共交通を利用している市民の割合	%	実績値	7.7	9.0	11.0	13.3			
				目標値		9.2	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	B	路線バスの運行路線数	本	実績値	5	5	5	5			
				目標値		—	5	5	5	5	5
	C			実績値							
				目標値		—					
D				実績値							
				目標値							

成果指標の達成状況	A	達成	成果指標の増減の要因	A	ここ数年、利用率が伸びている。R4年から実施した運賃割引制度による増加に加え、高齢者の免許返納を要因とする公共交通利用者の増が考えられる。
	B	達成		B	路線バスの運行路線数は5本を維持している。民間の交通事業者においては運転手の不足及び高齢化が大きな課題となっているが、運行路線数は維持している。
	C			C	
	D			D	

基本事業の成果指標	基本事業名		指標名	単位	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	1	公共交通の利用促進	A 登録証の発行累積数	枚	実績値	—	—	348	586			
					目標値		—	10	50	70	90	100
			B		実績値							
					目標値							
	2	移動手段の維持・確保	A 路線バス利用者数	千人	実績値	145	164	164	183			
					目標値		268	200	200	200	200	200
			B		実績値							
					目標値							
	3		A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							
	4		A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							

基本事業の取り組み状況・増減の分析・課題・取り組み	取り組み状況		目標に対する増減の要因分析	現状の課題	具体的な取り組み
	1	バスの利用促進のため、運賃割引制度を実施し、登録を促した。	運賃割引制度により、公共交通の利便性が高まっている。また、高齢者の免許返納により、結果的に増につながったとも考えられる。	ここ数年、利用者増となっているが、交通空白地域もあるため、既存の公共交通へ乗り継げる手段が必要と思われる。	令和8年度に公共交通計画策定を予定しており、より具体的な現状を把握するため、利用状況等調査を行い分析する。
	2	バス運行事業者への補助に加え、運賃助成などにより利用者を増やすことで維持確保をしている。	運賃割引制度の充実や高齢者の免許返納による利用者増も一因と言えるが、観光客の入込数が増加したことが大きな要因と思われる。	運転手の高齢化や労働時間の見直しにより、運転手不足が課題。今後は減便や廃線なども考えられる。	令和8年度に公共交通計画策定を予定しており、既存の路線に対する支援だけでなく、既存路線へつなぐ新たな交通手段を検討する。
	3				
	4				

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		後閑駅前月極町営駐車場管理運営事業							① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		0 円									
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保							後閑駅前町営月極駐車場(普通財産)の貸出及び維持管理を行う。駐車場使用料は、1台あたり3,000円/月である。				利用者の入れ替わりが少なく、空き待ち状態が続いている。枠が狭く降車しにくいとの声があった。				事業実績										
	基本事業		01		公共交通の利用促進															契約(利用)台数										
	組織名				財政		課		行財政改革推進係							②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策										
事業期間		継続事業			会計		1	款		2	項		1	目		5	砂利敷のため除草、除雪、区画の整備等の維持管理作業が遅れると利用者に迷惑をかけてしまう。				利用者の車種の把握や、利用者間で融通して利用してもらう。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
																					44				44		台			

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000004		鹿野沢町営駐輪場管理運営事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		243,604 円				
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保					水上駅前自転車駐輪場の貸し出しに係る、申請受付・許可証・シールの交付、使用料の徴収、駐輪場の清掃等。					土地賃貸借契約の更新時の際、地権者に今後の利用方針に触れたうえで更新を行った。					事業実績					
	基本事業		01		公共交通の利用促進															利用者数					
	組織名					財政		課		行財政改革推進					②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策					
事業期間		継続事業			会計	1	款	2	項	1	目	5	年間の借地料が割高である。 また、年々、利用者が減少しているため、施設のあり方について検討が必要。					利用者数、コストパフォーマンスを考慮し別の方法で駐輪場を確保、運営するよう調整する。					令和 5年度	令和 6年度	単位
																							5	5	人

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		路線バス利用促進事業										① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費	6,947,188 円		
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保										路線バスの利用者の運賃負担軽減のため、令和5年度より「路線バス運賃助成事業」及び「路線バス通勤通学定期券購入補助金」制度を開始。 みなかみバスカードに代わる新しい制度として、路線バス利用者の維持・増加につなげる。					広報等による周知により「路線バス運賃助成事業」は利用者が大幅に増えたが、「路線バス通勤通学定期券購入補助金」は想定より利用が少なかった。					事業実績		
	基本事業		01		公共交通の利用促進																				制度利用者数		
組織名				企画				課		企画調整				係	②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策					制度利用者数		
事業期間		継続事業				会計	1	款	2		項	1		目	10	「路線バス通勤通学定期券購入補助金」にかわり、バスだけでなく電車や新幹線の定期券も対象とした「高等学校等通学定期券購入補助金」を令和7年度より開始する。					令和 5年度	令和 6年度	単位				
																					351	597	名				

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		路線バス運行支援事業							① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		5,782,000 円						
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保							水上地区内で運行する路線バス、宝川入口～水上駅線の朝一便の補助。					バスカードに代わる新たな制度の検討を行い、令和5年度より「路線バス運賃助成事業」及び「路線バス通勤通学定期券購入補助金」制度を開始。					事業実績		利用者数(宝川入口～水上駅線)					
	基本事業		02		移動手段の維持・確保																	令和 5年度				令和 6年度		単位	
	組織名				企画		課		企画調整			係		④今後の方針・課題解決策					106		106		人						
事業期間		継続事業		会計		1		款		2		項		1		目		10		②事務事業の課題					自主運行継続のため、公共交通の利用促進や県が実施するバスや鉄道などの乗り換え案内などの情報を詳しく紹介することにより利用しやすい環境づくりに努める。				
																		①町内バス路線の利用者の維持確保 ②バス事業者の収益悪化や営業所の統廃合による運行本数の削減											

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		地域公共交通会議等事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		0 円								
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保						町営バスの登録更新などの際に行われる会議				—				事業実績									
	基本事業		02		移動手段の維持・確保														会議開催回数									
											②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策													
組織名			企画			課			企画調整			係			課題なし				—				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間		継続事業			会計	1	款	2	項	1	目	10					1				1		回					

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000005		上毛高原駅前駐車場管理運営事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		10,265,907 円			
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保						上毛高原駅前に整備された駐車場(コインパーキング)の維持管理と北側、西側2カ所の町民駐車場の維持管理を行う。				キャッシュレス決済に必要な出口ゲート精算機を更新し、利便性の向上を図った。				事業実績				
	基本事業		01		公共交通の利用促進														コインパーキング利用台数				
	組織名				財政 課		行財政改革推進 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策								
										機器の交換時期が近づいている。キャッシュレス決済対応機器の導入を検討する。駐車場敷地内の植栽等の管理方法を検討する。				入口ゲートの老朽化のため不具合が生じており、券券機の更新を検討する。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1 款		2 項		1 目		10						62815		47311		台	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		後閑駅前駐車場管理運営事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		5,702,595 円					
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保						後閑駅前に整備された駐車場（コインパーキング）の維持管理を行う。 維持管理は商工会に委託している。				緊急対応として、町の道路除雪の合間に駐車場の除雪を行い、駐車機能の回復をさせた。				事業実績						
	基本事業		01		公共交通の利用促進														コインパーキング利用台数						
											②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策										
組織名			財政 課			行財政改革推進 係						冬期間、除雪は行っていないが令和6年度のように豪雪に見舞われた場合、駐車場の機能が停止してしまう。				令和6年度同様に町で緊急除雪を行うか、または除雪作業も業務委託の内容に加えるか検討する。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1 款		2 項		1 目										10		13436		14791	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000006		後閑駅舎活用事業						① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		3,970,876 円						
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保						平成30年4月無人化となった後閑駅を学生が利用できる自習室として活用する。					利用ルールの見直しを行なった。					事業実績							
	基本事業		01		公共交通の利用促進																学習室利用者数							
	組織名		企画 課			企画調整 係			②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策					令和 5年度						令和 6年度		単位	
事業期間	継続事業			会計	1	款	2		項	1	目	10	利用者増加により希望者が利用できない日がある。					利用者や利用ルールを再検討し、良好な学習環境を提供する。					2,048		2,720		人	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000004		シェアサイクル実証実験事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	4,394,693 円			
施策 体系	施策		09		公共交通の維持・確保						電動アシスト付き自転車をサイクルポート間で自由に貸出・返却ができるシェアサイクルを運営する事業。地域住民及び来町者の交通手段を補完することで回遊性を高め、地域を活性化させることを目的とする。 温室効果ガスを排出しないシェアサイクルは、豊かな自然と人々の共生、カーボンニュートラルなど持続可能な地域を目指す本町の基本理念とも親和性が高く、本町の魅力をより実感しやすい取組である。				ポート設置箇所や利用料金の調整、スマホホルダーの取付等を行い、利用者数は年々増加している。				事業実績			
	基本事業		02		移動手段の維持・確保																	
	組織名		企画		課		企画調整				係		②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				利用者数	
事業期間		期間限定事業		会計	1	款	2	項	1	目	10	①利用者数増加のための施策検討 ②周遊ルートの検討				老朽化した自転車の入れ替えや周遊ルートの検討を引き続き行い、公共交通機関の機能補完の役割を果たすよう努める。				令和 5年度	令和 6年度	単位
																2,351				3,145	名	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		自家用有償バス(猿ヶ京法師線)運行事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		9,253,103 円					
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保						・自家用有償バス運行に関する事業 自家用有償バス(自家用有償旅客運送)とは、町が交通空白地域に対応するため、国土交通大臣が行う登録を受け、町内猿ヶ京温泉～法師間において住民の運送、その他の国土交通省令で定める旅客の運送を行うバス。				特になし				事業実績						
	基本事業		02		移動手段の維持・確保														乗車人数						
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策												
組織名				総務 課				新治支所住民 係				課題なし				地域住民の交通の利便性を図り、生活福祉の向上と交通の安全を期すために運行する。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1 款		2 項		1 目										16		7,095		7,489	